

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街』

重点課題2 地球環境問題への対応と循環型社会の構築

<施策の基本方針>

「環境首都・札幌」を宣言し、地球温暖化対策の推進や循環型社会の構築を目指して、新エネルギーの活用やバイオディーゼル燃料の普及促進を通じた温室効果ガスの排出削減に取り組みます。また、市民・事業者・行政が一体となって、ごみの発生抑制、再利用、リサイクルの取り組みや、市民一人ひとりが省資源、省エネルギーのための環境行動を実践するまちづくりを推進します。

事業費の進捗率

45.8% 算出式：(H19決算額 + H20決算見込額 + H21予算額) 2,020,452千円 / (計画事業費) 4,413,200千円

施策別の主な取組内容

19～20年度(実績)

【施策1】環境行動を実践する人と街づくり
 ・「環境首都・札幌」を宣言し、市民の環境への意識を喚起するとともに、市民式典を開催し、本市の姿勢を世界に発信した。
 ・さっぽろエコ市民運動等の各種啓発事業を実施。
 ・環境配慮型事業者登録制度「さっぽろエコメンバー」の運用開始。
 ・円山動物園においてエゾシカ・オオカミ舎完成。
【施策2】省エネルギー、新エネルギーの普及促進
 ・札幌駅前熱供給導管ビット事業整備に対する補助実施。
 ・次世代エネルギーパーク事業の基本計画を策定。
 ・メガワットソーラー共同利用モデル検討事業の実施に向けて「札幌・サンサンプロジェクト」事業、計画を策定。
 ・札幌・エネルギーecoプロジェクトによる融資補助を募集、847件の支援を行った。
 ・「札幌市公共施設における省エネルギーの推進及び新エネルギーの導入要綱」を制定。
【施策3】みんなで進めるごみ減量、リサイクル
 ・「スリムシティさっぽろ計画」を策定し新ごみルール説明会などで周知するとともに、この計画で掲げたごみ減量・リサイクル施策の実施に向けて、「雑がみ」のモデル実験事業や生ごみリサイクルパートナーシップモデル事業を行い、地区リサイクルセンターを設置した。

21年度(予定)

【施策1】環境行動を実践する人と街づくり
 ・引き続き、さっぽろエコ市民運動等の各種啓発事業を実施。
 ・「さっぽろエコメンバー」の定着、拡大を図るための支援策の検討。
 ・円山動物園においてエゾヒグマ館建設。
【施策2】省エネルギー、新エネルギーの普及促進
 ・札幌駅前熱供給導管ビット等の整備に対する補助実施。
 ・太陽光発電等設置モデル事業で常盤小学校に太陽光発電を設置。
 ・「札幌・サンサンプロジェクト」の率先導入として、市役所本庁舎に太陽光発電を設置。
 ・札幌・エネルギーecoプロジェクトによる新規融資・補助を募集。
 ・木質バイオ燃料の活用による地球温暖化の防止及び環境産業の育成に向けた調査を行う。
【施策3】みんなで進めるごみ減量、リサイクル
 ・家庭ごみの有料化、雑がみ及び枝・葉・草の分別収集開始などの新たなごみルールを7月から実施し、ごみ減量・リサイクルをさらに推進していく。

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加
 ・「環境首都・札幌」宣言事業：市民、環境活動団体等からなる環境首都札幌推進協議会を設置し、環境に関する取組を進めている。
 ・町内会など地域コミュニティと協働し、新ごみルール説明会を20年度中に約750回行った(21年7月までに2,600回の予定)。
企業等との連携、協働
 ・札幌・エネルギーecoプロジェクト：提携金融機関、事業者から資金協力を得るとともに、制度の運用等に当たっては、協働で実施した。
 ・レジ袋削減に向けた取組に関する協定：事業者、市民団体、行政で三者協定を締結し、事業者のレジ袋有料化の取組を支援した。(12業者174店舗)
 ・市民・企業等が参加しやすい環境づくり
 ・太陽光発電等設置モデル事業：保護者向けのパンフレット配布、学習会や地域住民向けの見学会を行い市民が参加しやすい環境とした。
 ・札幌・エネルギーecoプロジェクト：広報に掲載するとともに、ホームページで詳細な情報発信と関係書類の提供を行った。
 ・CO₂削減普及推進事業(エコライフ定着関係事業)：「さっぽろエコ市民運動」の一環として市民・企業等が取り組みやすいエコライフレポートの提出を呼びかけた。

評価(成果)と課題

【施策1】環境行動を実践する人と街づくり
 ・「環境首都・札幌」宣言、さっぽろエコ市民運動等、CO₂削減のための各種啓発事業を実施したことで、市民、事業者の環境意識の醸成につながるなどの成果があった。
 ・「環境首都・札幌」宣言等の浸透を図るとともに、各種啓発事業をさらに推進し、環境行動の定着につなげていく必要がある。
【施策2】省エネルギー、新エネルギーの普及促進
 ・市民、事業者の省エネルギーや新エネルギーの普及促進に向けて、計画事業は予定どおり順調に進捗している。
 ・省エネルギー、新エネルギー機器のさらなる普及促進のために、支援制度の拡充や市民要望を踏まえた制度の見直し等が必要である。
【施策3】みんなで進めるごみ減量、リサイクル
 ・「スリムシティさっぽろ計画」の普及・啓発を全市で行われた新ごみルール説明会等で行った。
 ・計画目標を達成するため、7月からの家庭ごみ有料化などの新ごみルールについて引き続きルールの周知に努め、より一層の理解や協力を得ていく必要がある。

今後の重点取組

今後、さらに学校、企業、市民団体等との連携を深めながら「さっぽろエコ市民運動」をはじめとする各種啓発事業を実施することにより、市民、事業者等による環境行動の取組の環を広げ、「環境首都・札幌」の実現を目指していく。
 ・市民、事業者向けの省エネルギー・新エネルギー機器のさらなる普及促進のために、支援制度の拡充や制度の見直しを行う。
 ・7月からの家庭ごみ有料化などの新ごみルールについて、より市民の理解や協力を得ていく。

主な達成目標の状況

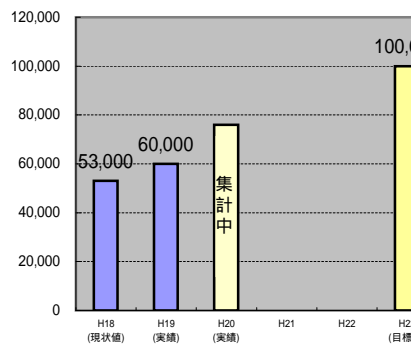
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H20(実績)
〔環境首都・札幌〕「さっぽろ地球環境憲章」の策定	策定(H20)	-	策定
〔世界冬の都市〕市長会議参加都市数	30都市(H22)	29都市(17年度)	22都市(19年度)
〔CO2〕エコライフ行動レポートの集計に基づき試算されるCO ₂ 排出削減量	4万t(H22)	-	18,077t
〔環境教育〕学校におけるエコライフ行動レポートの提出枚数(累計)	54万枚(H22)	-	148,027枚
〔落葉から環境保全と地域交流事業〕参加団体数(南区 累計)	15団体(H22)	2団体	10団体
〔地球に優しいまちづくり〕計画期間中の環境活動への参加者数(西区 19年度からの累計)	36,500人(H19～22累計)	24,322人	30,795人
〔環境保全型農業〕堆肥の散布量(累計)	1,200t(H22)	-	607.2t
〔北海道の野生動物復元〕オオワシ、シマフクロウの繁殖数	3羽(H22)	-	-
〔円山動物園リニューアル〕基本計画の策定	策定(H19)	-	策定
建築物環境配慮制度に基づく総合環境性能評価の提出件数(累計)	300件(H22)	-	72件
札幌駅前通熱供給導管ビット整備	完成(H22)	事業着手	土工
〔風力発電〕事業主体となる事業者の選定	選定(H19)	-	選定(H19)
〔下水熱有効利用〕西区民・保健センターにおける二酸化炭素排出削減量	システム導入前に比べ50%削減(H22)	-	前システム比38%削減
〔太陽光発電等設置〕学校への新エネルギー設備導入件数(累計)	10件(H22)	7件	9件
〔次世代エネルギーパーク〕構想を受けた整備計画の策定	策定(H20)	-	策定
〔ecoプロ〕新エネルギー設備等の新規融資額	10億円(H22)	-	5.5億円
〔公共施設省・新エネ導入〕指針に基づく省エネ・新エネ導入検討施設数(累計)	4カ所(H22)	-	86カ所
〔札幌市一般廃棄物処理基本〕計画の改定	改定(H19)	-	改定・推進
〔家庭用〕廃食用油回収拠点数	200カ所(H22)	43カ所	192カ所
〔家庭用〕廃食用油回収量	7,000 /月(H22)	1,200 /月	3,500 /月
「さっぽろスリムネット」によるごみ減量実践活動への参加者数	20,000人(H22)	10,000人	11,343人
〔定山溪地区生ごみ堆肥化推進事業〕参加事業者の生ごみ分別量	3.2t/日(H22)	1.6t/日	1.8t/日
リユース広場(リユースプラザ)で市民に提供した家具等の個数	1,200個(H22)	965個	2,071個
〔中規模事業所〕ごみ減量・処理報告書の提出義務付け対象拡大	実施(H19)	-	実施

主な施設・サービスの整備水準

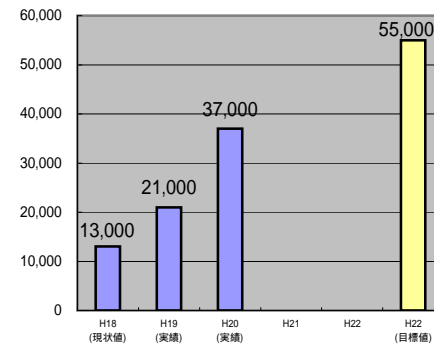
該当なし

成果指標等の動向

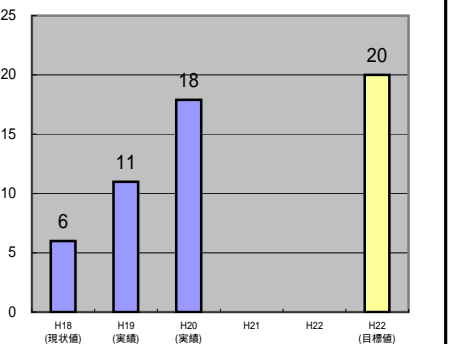
市民の省エネ・省資源行動指標(省エネ・省資源を実践したことによるCO₂削減量)(単位:t)



市内における新エネルギー・省エネルギー機器導入によるCO₂削減量(単位:t)



廃棄ごみ量(平成16年度対比)(単位:%削減)



環境に配慮している事業者数(単位:件)

